

変更契約の調書

工 事 名	市道妹背ノ松線 千代の橋更新工事
当初	
施 工 場 所	南陽市 宮内 地内
請 負 業 社 名	侑和建設株式会社
工 事 種 別	土木一式
工 事 概 要	橋梁更新工事 1橋 ○土工：N=1式 ○函渠工：L=7.5m(BOXカルバート□1700×1700) ○護岸工：A=53㎡ ○舗装工：N=1式 ○道路付属物工：N=1式 ○排水施設工：N=1式 ○構造物取壊し工：N=1式 ○構造物撤去工：N=1式 ○仮設工：N=1式
契 約 金 額	13,750,000 円 (消費税及び地方消費税を含む。)
工 期	着工 令和5年11月27日 完成 令和6年3月27日

第1回変更

変 更 年 月 日	令和6年3月1日
変 更 金 額 (変 更 後)	14,511,200 円 (消費税及び地方消費税を含む。)
工 期 (履 行 期 間)	完成 令和6年3月27日
変 更 理 由	【市道妹背ノ松線】 1. 土工について

現場再調査の結果、ボックスカルバートを入れる掘削の際、現況の傾斜が急勾配となっており重機が入れない状況であった。施工の安全性を確保するため掘削土量を増工して対応したい。

	当初	変更
掘削	V=90m ²	A=150m ² (60m ³ 増)
埋戻し	V=70m ³	V=130m ³ (60m ³ 増)
残土	V=20m ³	V=150m ³ (130m ³ 増)
購入土	V=64m ³	V=249m ³ (185m ³ 増)

2. 護岸工について

現場再調査の結果、当初間知ブロックでの護岸復旧を予定していたが、現況が乱雑な石積みみの護岸になっており、撤去することが困難なことから、安全に施工できるようL型擁壁と現場打ち擁壁へ変更し、実施したい。

	当初	変更
L型擁壁	L=-m	L=6m(6m増)
コンクリート	V=3m ³	V=9m ³ (6m ³ 増)
型枠	A=-m ²	A=22m ² (22m ² 増)

3. 舗装工について

現場再調査の結果、橋の計画高と現況道路間で擦り付けが困難なことを確認したことから、復旧範囲を拡大し、道路を安全に通行できるよう次のように変更し、万全を期したい。

	当初	変更
表層工	A=34m ²	A=123m ² (89m ² 増)
上層路盤工	A=34m ²	A=123m ² (89m ² 増)

4. 排水施設工について

現場再調査の結果、現道において路面排水する施設がなく橋梁の損傷が進行していたと想定されたため、横断側溝と集水柵を新設し、路面排水を適正に処理することで機能向上を図りたい。

	当初	変更
側溝工 (横断用側溝300×300)	L=-m	L=4m(4m増)
集水柵 (600×600,700×700)	N=-箇所	N=2箇所(2箇所増)

5. 水替工について

当初、河川の水替えについては縮切排水工として既設護岸と新設するボックスカルバートの間に仮設排水管を設置する計画でしたが、現地調査の結果、護岸とカルバートの間に排水管を設けるスペースがなく、カルバートの施工が困難であることから、ポンプによる水替えに計画変更し、対応したい。

	当初	変更
水替えポンプ(120m ² 以下)	N=-日	N=20日(20日増)

6. その他、現地に適合するよう軽微な変更を実施したい。